

平成31年度小松市立中海小学校 学校評価（計画）

めざす児童生徒像

- ・明るく元気な挨拶や大きな声で歌うことができる児童。
- ・自分や友だちのよさを認め、主体的に表現することができる児童。
- ・学ぶ意欲があり、確かな学力（基礎基本、思考力、記述力、発表力）を身につけた児童。
- ・自分や友だちの安全や健康に関心を持ち、よいと思うことを実践できる児童。

	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					
学校重点項目 (学校で設定)	めざす児童生徒像の実現	自己の向上感	各ポイントを90%以上にする。	① 学校は楽しい。					
				② 進んで挨拶をしている。					
				③ 自分にはよいところがある。					
				④ 友だちのよいところを見つけ助け合っている。					
				⑤ 授業がわかる。					
				集計					
石川県共通重点項目	働き方や業務の改善	意識改革	各ポイントを80%以上にする。	① 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。					
				② 時間外勤務を月55時間以内にする。					
				③ 定時退校日を実行している。					
				④ 働き方改革を意識し、業務改善に向けて工夫している。					
								集計	
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	④を85%以上にする。	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。					
				② 研究主題に迫る目指す授業像（児童生徒像）を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。					
				③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。					
				④ 算数科の授業において、児童に、図・言葉・式を使って、考えさせている。					
								集計	
		授業	①②⑥を85%以上にする。			① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。			
						② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。			
						③ (発表力) 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。			
						④ (記述力) 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。			
						⑤ 児童生徒は、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている。			
	⑥ 児童生徒は、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。								
	⑦ 板書、既習の掲示、学習のノート等を月一回交流する。								
						集計			
	学力の定着					学力調査	④の単元末テストによる到達率の全校平均が85%以上である。		① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。
									② 学力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。
		③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)							
		④ 算数の学力の定着がみられる。							
									集計
	家庭学習		各ポイントを85%以上にする。		① 自分で計画を立てて勉強している(3年以上)				
					② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている				
					③ 学年の目標学習時間を達成している。				
					集計				